

# 地区活動特集

## つながい！元気！感動！ ～笑顔がつくる明日の平塚～



平成 30 年 12 月 1 日  
平 塚 市  
青 少 年 指 導 員  
連 絡 協 議 会

### 横内地区活動報告

横内地区青少年指導員

横内地区青少年指導員は、自治会、公民館、町内福祉村、子どもサポートネットワーク協議会（サポネット）、小学校、中学校、若草保育園などの地域団体と関わりを持って年間の活動を行っています。今年の夏から秋に行われる行事を紹介します。



●地区納涼祭は、当日の櫓組み立て・テント張り等の準備から翌日の片付けまでを行います。育成会の後を受け、青指が出演して2回目となります。出店に当たっては、①利益を考えない

②子どもたちに楽しんでもらう③準備に手間がかからない④我々も一緒に楽しむことを目標にしました。実施内容は幼児でもできる「輪投げ」です。学年別に投てき位置を変え、ルールは緩くして参加者全員が賞品を受けとられるようにしました。夜になっても厳しい暑さが続いた影響か？昨年に比べ参加者が幾分少なく感じました。それでも多くの子どもたちが挑戦し、ビンゴ賞を取るための真剣な表情が印象的でした。



●恒例のふれあいキャンプは、サポネットと共催で8月中旬に行っています。小・中学生を対象に、野外での共同生活を通して学年を超えた仲間や地域の人たちとふれあい、集団生活でルール・マナーを学ぶことを目的にしています。往路は路線バス（臨時便）で平塚駅へ、小田原経由で大雄山までの公共交通機関を利用して、ルールとマナーを体験しました。



イベントは・ウォークラリー・夕食のカレーづくり・キャンドルファイヤとゲーム・翌日の丸太の森での自由行動などです。酷暑が予想され、熱中症予防のため最乗寺までのハイキングをキャンプ場内でのウォークラリーに変更するなど、子どもたちの負担軽減と安全を第一に取組みました。班行動により中学生はリーダーシップを小学生は協力し合うことの大切さを学んだキャンプとなりました。

●秋の地区レクは会場整理と進行係を担当しています。台風25号の強風を警戒して体育館で実施になりました。それでも大勢の参加者があり、会場整理は駐輪場の案内を行い、進行係は競技出場者の人数調整などを積極的に協力できました。昼食時は、青少年関連団体や青指OBが集まり、にぎやかに懇親を深めています。

●今後の活動は、11月に小学校PT

A主催のオールフレンドフェスティバルでスライム作りを担当し、12月には公民館の年末清掃、2月にドッジボール大会と公民館祭りの出店などの地域行事に協力していきます。



## 八幡地区活動報告

八幡地区青少年指導員

【八幡神社例大祭子ども神輿の巡行】  
7月15日(水)八幡神社例大祭恒例の子ども神輿の巡行が行われました。子ども神輿は東西2グループに分かれ、それぞれの地区をまわりましたが、低学年が多いため全行程を担ぎとおすことはできません。そこで、住宅街では台車にお神輿を乗せて力いっぱい引いて行くのです。青少年指導員は子ども村や交通安全指導員、体育振興会の皆さんと協力してお神輿の前や後ろについて安全な運行に心を配りました。子どもたちは真夏の太陽のもと、元気いっぱいお神輿巡行の役割を

果たしました。



【八幡公民館でソーメン流しを楽しむ】

8月4日(土)八幡公民館の企画でソーメン流し大会が開催されました。青空の下、子どもたちは小さな手に食器とお箸を構えてソーメンが流れてくるのを待っています。ほほえましく、楽しい光景です。青少年指導員は調理室で大鍋に立ち向かい、ひたすらソーメンを茹で続けました。それを食べる子どもたちの喜びがあれば、作るのも楽しいものです。



【盛り上がった八幡地区盆踊り大会】

8月4日、5日二夜にわたり八幡地区盆踊り大会が八幡神社境内で開催されました。今年は天候もよく、延べ1000人もの参加を得て、たいへん盛り上がりしました。青少年指導員は社協の模擬店のヨーヨー釣りを手伝いました。初めて水風船を作るのはけっこう大変です。ポンプから水が漏れたり、空気を入れすぎて風船が割れたり、びしょ濡れです。それでも、私たちが作った不揃いなヨーヨーは却って子どもたちの興味を引き、真剣なまなざしでヨーヨー釣りに挑戦してくれました。皆さんと楽しんだ二晩でした。



【一泊防災体験企画に参加】

9月1日(日)八幡公民館行事で小学生4、5年生を対象にした「一泊防災体験」が行われました。これは、子どもたちが地域の人々とふれ合い

ながら、公民館での一泊を通して防災意識の向上や、役割分担、社会的ルール、助け合い、などの意識の向上を目指すという企画です。具体的メニューは避難訓練、救命講習、放水体験、起震車体験、避難所での生活体験、食事の調理、ランタンの制作など、盛りだくさんです。その中で青少年指導員の仕事は夕食後に「避難所で何もなくても皆で楽しめるレクレーション行う」ことでした。ところが、八幡地区青少年指導員は新人ばかりで経験がありません。悩みましたが講習会で習ったゲームや青指の先輩から教わったことを参考に、本番に臨んだところ、ジュニアリーダーの仲間たちの助けもあって、すぐに打ち解けて、楽しくゲームを進行することができました。



# 真土地区活動報告

真土地区青少年指導員

4月に新たに仲間になった指導員さんも行事の多さに戸惑ったかもしれません。でも、みんな前向きに頑張って活動してくれたおかげで、たくさん子どもたちの笑顔に出会えることができました。4月の「真土神社例大祭」では子ども神輿のサポートを担当し大人神輿の後について大声を出しながら元気いっぱいお楽しみしました。



5月の「大塚山公園まつり」では「遊びの楽校」で実施したバルーンアートが、無料ということもあって子どもたちが途切れることもなく大人気でした。



夏は「愛のパトロール」で始まり小学生の保護者さんに最低1回の参加をお願いし、週3回6週間の全18回を毎年実施しています。その事務局を青指が担当し毎回出欠の確認と案内をしますが、参加者名簿の調整管理から当日の参加者へのお茶の準備までするので夏は大忙しです。参加者は各団体の協力者も含め毎回15〜20名程度で2班に分かれ2コースを1時間パトロールします。声かけの事例は少ないので、地域の防犯上の抑止力になるので、と参加者にはご理解をお願いしています。中ネットや他団体が実施しているパトロールも含めると多くの方が地域を見守っていると思われる。また、今年はナイトハイクが実施できなかったのが残念でしたが、恒例の盆踊り大会は多くの模擬店が出店され盛大に開催されました。青指が扱った光るグッズは大人気で子どもたちとのコミュニケーションツールとして大活躍しました。



真土には中学校区とは別に小学校区の「教育力ネット」があり青指は例年真土ネットの会長を勤め真土青指全員がネットのメンバーに登録されています。そして他団体とのつながりも深く各事業の実行委員会以外にも多くの会議が予定されています。また、真土地区の子どもサポート看板の設置状況の確認やお礼のあいさつ回りはネットの事業ですが、実行部隊は青指なのでメンバーがエリアを分担して回っています。また、自治会館や大塚山公園の清掃は毎月担当する団体が決められており8月は青指が担当。夏にみんなで作業で汗をかくのが恒例となっています。10月に開催された地区レク、PTA行事、子ども大会で今年の主な事業はひと段落といった感じですが、多くの行事に追われ、忙しく活動はしていますが、役割分担をしながらも何とか助け合ってやっていけるのも子どもたちの笑顔が待つ

ているからだ実感しているところです。



# 山下地区活動報告

山下地区青少年指導員

私たち山下地区青少年指導員協議会（以下「山下青指」といいます。）は、山下小学校区内の高根・上山下・下山下・若宮ハイツ・山下団地・徳延の6自治会から選出されたメンバーで構成されており、毎月1回、旭南公民館で定例会を行っています。



年間の活動の中で大きなイベントとなつているのは、やはり主催事業である「子ども大会」です。

山下小学校の体育館を会場に昨年と今年はドッチボール大会と大縄跳び、ハーフタイムに未就学の子どもたちによる障害物競争を行いました。参加人数は小学校の全校生徒数の割合からすると決して多くはありませんが、会場内は元気な子どもたちでいっぱいになります。開催にあたっては山下小学校の校長先生を始めとして多くの先生方、小学校PTAの皆さん、さらには中学生ボランティアのご協力をいただいております。



その他の事業では、夏季に行う「愛のバトロール」があります。山城中学校区内を分担している勝原青指と、各々の学校の先生・PTAの方々などの協力をいただきながら夏休み期間

中の土日の夜9時から1時間、それぞれの学区内の巡回をしています。今年も期間中の7回を各メンバーが順番で参加しました。山城学区だけではなくりませんが、OケモンGOのブームも落ち着き、最近はやな夜な出歩く子どもたちの姿は見かけなくなつたように感じます。

小学校や地域のイベントにも様々な形で参加・協力しています。山下小学校の地域との交流イベントである「ふれあい山下」、旭南公民館のイベントである「公民館まつり」では、わたがしを毎年地域の子どもたちに提供しています。



昨年は、ボランティアでお手伝いいただいた歴代の青少年指導員OBの先輩が、蜘蛛の巣のようになっていて現役の様子を見るに見かねて、スマー

トにわたがしを作るコツを伝授してくれました。ふんわりと見栄えも良くなり、子どもたちからはとつても好評でした。

他にも地域のイベントである、元旦に開催している「旭地区一周元旦駅伝大会」、「かるた大会」、山城中学校の地域との交流イベントである「ふれあい山城」や山城教育力ネットワークの事業への参加などを通じて、地域の子どもたちとふれあう機会をたくさんいただいております。

青指の活動目的はなかなか崇高なものですが、これからも地域の子どもたちの健やかな成長を願い、時々子どもたちから元気を分けてもらいながら、少しでも貢献できるように地道に取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

## 広報委員のつぎやき

花水地区青指メンバー17名は、浜岳リーダーズクラブ（HLC）メンバー22名（高校生10名、中学生12名）と共に思考を凝らしながら楽しく活動しています。

今年の子ども大会は、5月13日（日）に恵まれた天候の中で開催できました。この他の花水地区独自の活動を二点紹介します。

1つ目は不要になった鍵盤ハーモニカを回収しシキホール島の子ども

たちに寄付をする活動です。この活動はHLCが中心となり、4年間で400台以上を送り、現地の子どもたちから多くの笑顔が届いています。

2つ目は10月31日（水）に行われたHAPPY HALLOWEENです。仮装して花水公民館に来てくれた子どもたちにお菓子を配り、希望者は仮装コンテストの写真撮影。今年初でした。来場者数は520人以上と盛り上がりしました。

今後も未来にも笑顔を繋げられるように頑張ります！

花水地区 安永 典史



### 【広報委員会】

委員長	なでしこ地区	田邊 貴也
委員	花水地区	安永 典史
〃	旭地区	田代 信子
〃	豊田地区	伊東 多恵子
〃	神田地区	土屋 裕之
〃	金田地区	青木 一規
〃	真土地区	石井 康仁
〃	松が丘地区	柳瀬 克則
〃	松延地区	伊川 眞理
事務局	青少年課	三春 雄太
〃	〃	東海林 拓也